

PROGRAM NOTE

「HCJB日本語放送47周年記念番組 2011年5月」

HCJB日本語放送が南米エクアドルのアンデスの峰をこえて第一声を放ってから、今年で47年になりました。そこで5月のサタデー・トークは 47周年記念番組として、『アンデスの声』が一時放送を中断したあの歩みを当時のスペシャル番組をふりかえりながらたどってみたいと思います。

思い起こせば、**2000年**大晦日は『アンデスの声』にとっては大きな転換期でした。これまで**13,394日**にわたって毎日、南米向け、日本向け、北米向け、ヨーロッパ向けにつづけられた放送は終了の止むなきに至ったのです。主な理由はエクアドルに新国際空港が建設されるためのピフォ送信所のアンテナ全面撤去でした。この先どうすればいいのか誰にもわかりませんでしたが、見えない先にも道はちゃんと備えられていきました。放送終了を惜しむ多くのみなさんの声を背景にBSデジタル放送BSC301チャンネル（カルチャー・チャンネル）の特別協力を得て、番組が朝昼晩と3回毎日継続放送されることになったのです。さらに、年明けの**2001年4月**にはHCJBがインターネット放送を試験的に始めることになり、番組がオンデマンド形式でもきかれるようになりました。短波ではないにしても、エクアドルからはインターネット放送として、日本ではデジタル音声放送としてHCJB日本語放送はよみがえったのです。

インターネット放送はじまる 5月7日（土）放送

2001年



HCJB日本語放送の転換期（ターニングポイント）となったインターネット放送開始の第一声をおききください。日本や南米のリスナーの方からのお便りの紹介のあと、懐かしい『マリンバの調べ』がリクエストで登場します。最長寿番組として人気ナンバーワンとなった「マリンバの調べ」の演奏者ジーン・ショーさんの自慢の料理はチーズケーキでした。スタジオでの番組収録終はよくご馳走になりました。少女時代に日本のマリンバリスト平岡養一さんの演奏をニューヨークできいて マリンバリストになったのでいちどは日本で演奏したいと言っておられたのですが、その夢はとうとうかなえられませんでした。

アンデス39年周年感謝コンサート 5月14日（土）放送

2003年



HCJBからインターネット放送がスタートしたため、エクアドルよりは経済的に負担も軽く、日本も近くなる、米国シカゴの娘家族の家に移って仕事をすることにしました。キトでは、なによりも**39年**という長い間お世話になった周辺の方々に感謝の気持ちを表さなくてはと音楽コンサートでお別れしようと、**2003年4月**HCJBスタッフとその家族、また在留邦人やエクアドル人家族を招待して 数字のサン（3）とキュウ（9）を合わせたサンキュウ・感謝コンサートをひらきました。その実況は HCJB日本語放送**39周年記念番組**として短波に乗せて放送することができました。



HCJB日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）1517 N WILMOT RD #298 TUCSON AZ 85712 USA

キト・シカゴ間を結んでの40周年記念番組 5月21日(土)

2004年



ラファエル君

アンデスの峰をあとにして娘家族の住むアメリカのシカゴ郊外に移って一年が経った**2004年**。HCJB日本語放送は**40周年**という大台を迎えました。そこで、シカゴとキトを結んで**40周年記念番組**を記念の月に特別番組として放送してもらいました。開始アナウンスはHCJBに残っている長男の道夫。7年間『アンデスの声』で活躍してくれた大学生だったラファエル君とドラマでは主役をつとめてくれた内田作ちゃんがキトとシカゴを結ぶコーディネーター役。シカゴからは私が日本系企業ビッグストン会社関口公秀会長に海外企業の苦労話をインタビューして放送しました。



内田作ちゃん

シドニー・シカゴ間を結んでの41周年記念番組 5月28日(土)

2005年



祐二・みちほ

2005年は次男の祐二・みちほ夫妻が会社の海外赴任でシドニーに住むようになったので**41周年**の記念番組はふたりに「オーストラリア・レポート」を担当してもらいました。オーストラリア大陸の今を伝える折々の話題はどれもこれも興味深い話題ばかりでした。**41周年記念番組**では、オハイオ州コロンバス日本人教会に出かけ『アンデスの声』のリスナーだった商社マンの鶴田さんはじめ教員の尾崎礼子さん、木藤和子さん、松田誠子さんにインタビューして放送しました。

南米大陸から放送を開始した日本語短波放送『アンデスの声』は**2000年**大晦日でいったん終了しましたが、今度は太平洋をぐるりと半周してオーストラリア大陸からふたたび『声』を日本へとどけることが出来るようになりました。ひとつずつ門がとざされると別の門がひらかれます。HCJBオーストラリアが長い間待っていた短波放送の許可が政府から突然出たのです。それを知った日本の短波ファンからの日本語放送再開の要請が繰り返し寄せられました。しかし、キトから短波用の100kw送信機が送られてくるまでは待ってほしいということで、**2005年**は、**41周年記念特別番組**だけを放送してもらいました。そして、翌年**2006年6月3日**。HCJB日本語放送は正式にオーストラリア経由で日本へ向けて放送が再開される運びとなり現在に至っているのです。

これまでの糾余曲折の歩みをあらためて振りかえってみると、その道は決して平坦ではなく、行き先がみえないこともしばしばでした。しかし、不思議にここまで守られ、支えられ、今も放送がつづけられていることに自分でも驚いています。ただただ、前へ前へとすすむことができたのは、ひとえにみなさまに背中を押していただき助けていただいたからだと実感しています。みなさま**47年間**本当にありがとうございました。

<47山坂越えて仰ぐ峰>

日本語放送担当
尾崎一夫



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

5月 7日	2001年4月 インタネット放送開始
5月14日	2003年5月 39周年お別れ感謝コンサート
5月21日	2004年5月 40周年記念番組(キト・シカゴ)
5月28日	2005年5月 41周年記念番組(シドニー・シカゴ)

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

5月 8日	
5月15日	人生の道しるべ
5月22日	(旧約聖書箴言ソロモン王の知恵より)
5月29日	

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間午前7時半～8時

放送周波数： 15525kHz 19mb

(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

HCJB 日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）1517 N WILMOT RD #298 TUCSON AZ 85712 USA